

■ 特色

血液内科は主として、急性・慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群などの造血器悪性疾患に対して、同種も含めた末梢血幹細胞移植を含む強力な化学療法から、高齢者に対する緩和的な治療まで行っています。

■ 主な対象疾患

急性・慢性白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群、特発性血小板減少性紫斑病、全身性エリテマトーデス、慢性関節リウマチなど

■ 2009年度診療実績

血液内科の入院患者は常時30人程度で、年間延べ入院患者は300人ほどです。

骨髄移植	4件		
骨髄穿刺	149件	急性白血病	35件
再生不良性貧血	13件	多発性骨髄腫	35件
特発性血小板減少性紫斑病	5件	慢性骨髄増殖性疾患	12件
骨髄異形成症候群	20件	全身性エリテマトーデス	1件
悪性リンパ腫	79件	慢性関節リウマチ	22件

■ 教育認定施設

日本血液学会教育認定施設

■ 担当医プロフィール

職名	氏名	卒業年度	専門分野	認定医・専門医・指導医資格
病院長	西尾 晃	昭和48年 京都府立医科大学卒	血液免疫疾患 腎疾患 人工透析	医学博士 日本内科学会認定内科医 日本血液学会近畿地区評議員
部長	足立陽子	平成4年 京都府立医科大学卒	血液免疫疾患 腎疾患 人工透析	日本内科学会認定医 専門医 日本透析学会専門医 指導医 日本血液学会専門医 指導医 兵庫県透析医会幹事 日本血液学会近畿地区評議員 ICD認定医

■ 後期研修希望の先生へ

一般市中病院であっても、血液内科専門医は阪神地区に集中しています。大学病院、癌センター、移植病院と連携をとりつつ、当院でも最先端の医療を提供しています。しかし普通の白血病の方、普通のリンパ腫の方、たくさんの高齢者の方は現在行き場を失っている状況です。神戸市北区だけではなく広い診療圏の方を対象に、日夜頑張って治療を行なっています。

専門的な治療は勿論ですが、血液内科は総合内科として呼吸器腎臓消化器神経など総合的内科の知識が全て問われるところ。そのような内科の実力を蓄えつつ、一般的な血液腫瘍学のスキルが身に付くものと思われ。

また、内科全般についても、個別に内科認定医獲得を目指して、症例を重ねて頂くことは至極簡単にできます。